

保育士試験 「保育の心理学」 過去問分析 出題予想（傾向と対策）

※幼稚園教諭の資格者は免除される科目

はじめに 試験問題の解答には文章や文脈による“流れ”をつかむことが大切です。以下の文章に何度も同様の表現が出てきますがご理解ください。ケアレスミスは「分かった！！」と思った瞬間に問題を全部読むことを中止したり、読み返すことをしなかったりするために発生するケースが多いのです。とくに事例は日常の経験から解答できる問題がほとんどといっても過言ではありません。試験は受験して合格するだけでなく保育についての必要な知識が自然と理解できるので、勉強していてとても充実した気持ちになります。当然合格した時の達成感と言うまでもありません。

1. 解答形式 過去 100 問中

○×形式 50 () 形式 19 正しい・不適切一つ選択 26 その他 5

○×は絞り込み 組合せは文章をよく読み文脈で 不適切問題はよく読んで確実に

※○×と()の解答形式が多いということは、文章の量が多いということ。よく読まなければ正解につながらないし、限られた時間の中では前半に時間をかけると、後半に考える時間が取れなくなり、集中力にかけてしまう。出題もそれを狙ってか、前半に迷わせる出題が集中している。後半は比較的判りやすい問題もあるので、判るところをどんどん解答してしまおう。以前は事例が多く、読めさえすれば正解につながる問題もあったが、最近ではそのような問題は少なくなっている。問題用紙に解答を控える際の注意点は、その控えた解答番号をマークシートに一度に書き写すとずれてたいへんなことになる場合があるということ。できれば番号を確認しなら2、3問ごとに解答を書き写されることをお勧めする。

2. 6割12問(10問出題は6問) 得点のための出題出所内訳(キーワード)

傾向 乳児期からの成長に関する内容

保育士と保育所の役割

3. 科目としての難易度

この科目はキーワードとしては前述のとおりで、身近な生活の中で経験してきたことで正解につながると思われる。専門的な単語に惑わされることもあるが、6割の合格ラインがあるので割り切っていこう。

ご注意：この出題予想で試験が合格できるわけではありません。受験する人のモチベーションアップに貢献することで、受験勉強をより楽しく、効率的にしたいという思いで作成しています。

参考テキスト

「保育士 完全合格テキスト 上・下」翔泳社

参考サイト

参照法令